



第61号
2014年5月15日
LET九州・沖縄支部事務局発行
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-1
北九州市立大学 長 加奈子研究室内
TEL 093-695-3249
E-mail: secretariat@jlet-ko.org
編集: 植田 正暢・松崎 徹・事務局

支部長3期目のご挨拶：世代交代に向けてのチャレンジ

LET九州・沖縄支部長
島谷 浩 (熊本大学)



2010年4月にLET九州・沖縄支部第6代支部長に就任以来、多くの先生方にご協力いただき、なんとか2期4年間支部を運営することができました。2014年2月13日に開催されました支部運営委員会での支部役員選挙において3選され、もう1期、支部長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

この2年間、副支部長として、支部を支えていただいた石井和仁先生（福岡大学・前LET本部事務局長）と大津敦史先生（福岡大学・第5代支部長）の方の世代交代を進めるご意見を受けて、副支部長の若返りがはかられ、新副支部長には、竹野茂先生（宮崎公立大学・前支部選出理事）と田口純先生（筑紫女学園大学・支部運営委員・前メールマガジン担当委員）が選出されました。竹野先生は、宮崎公立大学で開催された2012年度の支部研究大会の実行委員長として、田口先生は、筑紫女学園大学で開催された2011年度の支部研究大会の実行委員長と

して、それぞれ充実した支部大会を開催していただいたことは、皆様もよく覚えておられるかと思います。

事務局長は、この4年間、事務局長として支部の屋台骨を支えてくださった長加奈子先生に、留任していただくことになりました。長先生は、支部選出理事にも選出されましたので、理事会で若い世代の意見を代弁していただきたいと期待しております。また、今年度から、松崎徹先生（筑紫女学園大学・支部運営委員・支部だより編集委員）に、支部幹事を担当していただくことになりました。支部幹事は、支部事務局内に以前からあるポストではありますが、長く担当者が置かれることはありませんでした。この支部幹事職は、事務局長の負担の軽減化と将来の事務局業務の円滑な移転がなされていくことを狙って設置されたものであります。

4年前の支部長就任時に、1988年発行の『語学ラボラトリー学会通信 47・48 合併号』において、LLA第5代会長である丹羽義信先生が述べられておられたLETの前進であるLLA（語学ラボラトリー学会）の三つの特徴を引用して、抱負を述べさせていただきました。ここで、再度ご紹介し、この4年を振り返ってみたいと思います。

「1」 中・高・短大・大学の教員は、すべて同等の参加資格を持つ。」この1)の特徴については、「中・高の先生方の参加を、さらに増や

すための方策を考えていきたいと思っています。小学校での外国語活動が必修となる学習指導要領が告示され、ほとんどの小学校で英語活動がスタートした今日では、早期英語教育を研究・実践される先生方のご活躍もおおいに期待しております。」と述べておりました。しかし、小・中・高の先生方の会員増はなかなか進んでいないのが実情です。2011年度の「こうすればできる！小学校外国語活動」を大会テーマとした支部研究大会のワークショップに、熊本大学教育学部附属小学校の前田陽子先生を講師に招いたり、2012年度には、仲山雄二先生（熊本県立荒尾高等学校）に運営委員になっていただいたりしておりますが、更にいろいろな方策をとる必要があるようです。

「2）英語ばかりでなく、あらゆる言語が対象となる。」2）については、「英語以外の外国語教育関係者の参加を増やすことにも努力したいと思っています。」と書きましたが、はっきりいってまったく成果があがっていない状況です。英語以外の外国語で、機器を積極的に活用した教育を実践している団体との交流を促進する方策も考えてみたいと思っています。

「3）機器と人間の内面を結び付ける方法を研究する。」3）については、「コンピュータ等のデジタル機器の発達は目覚しく、我々の日常を大きく変え、教育も大きく変わってきました。しかし、コンピュータなどの機器利用へ抵抗感を抱く教員・学習者が依然として存在することも事実です。私は、ますますの研究活動の推進は当然ですが、2001年より休眠中の支部主催の講習会を復活させるなどの工夫をして、LET九州・沖縄支部全体でできる社会貢献も推進させたいと思っています。」と書きました。こちらの方は、劇的に変化があったと思われるかもしれませんが、LETらしさを表に出して、2011年度の支部研究大会より、休眠中の講習会を復活させる形で、ワークショップを大会の午前中に組み込むことにいたしました。

さらに、JACETと共催という形で長く開催いたしておりました学術講演会を、2011年度よりLET単独開催とし、LETの独自路線を推し進めることを実現しました。2011年には、2011年度LET学会賞教材開発部門賞を受賞された染矢正一先生（大分県立芸術文化短期大学）に「教材開発の実践と作成手順」という講演会を開催し好評を博しました。2011年以降、支部研究大会でのワークショップの開催とLET単独の学術講演会が定着してきております。

今年の第54回LET全国研究大会は、8月4日（月）から6日（水）まで福岡大学で開催されます。2008年に、福岡国際会議場で開催されたWorldCALLは、木下正義LET第10代会長を中心として、LET全支部で国際大会を開催いたしました。九州・沖縄支部が担当した前の全国大会は、2004年度の第44回全国研究大会までさかのぼり、なんと10年ふりのLET全国大会ということになります。大津敦史大会実行委員長と田上優子大会事務局長（福岡女子大学）を中心として、「グローバル人材育成に資するこれからの外国語教育のあり方」というテーマで、着々と準備が進められています。非常に質の高い内容のプログラムがそろっておりますので、ひとりでも多くの方にご参加いただき、大会を盛り上げていただければ願っております。またお知り合いの方にも、お勧めいただければ幸いです。皆様に非力な支部長をサポートしていただく体制を構築していただきましたので、支部の充実のため、そして支部の世代交代に向けて準備を進めていく所存であります。2014年度～2015年度の支部役員は、すでに支部メンバーリストによりご承認いただき、支部ホームページに掲載されています。これから2年間、この体制で支部を運営させていただきます。支部会員の皆様が教育・研究を進める上で、LET九州・沖縄支部が、なくてはならない有益な交流の場となるように支部を運営していきたいと思っています。ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

第54回 LET 全国研究大会へのお誘い

実行委員長 大津 敦史 (福岡大学)

LET 九州・沖縄支部の皆様こんにちは、本年度の全国研究大会の実行委員長を務めます大津です。今回の支部だよりでは、本大会の進捗状況の中で、本支部と関係のある情報を中心にお伝えしたいと存じます。尚、本大会の概要などにつきましては、本部のメールマガジン 5 月号にその詳細を掲載しておりますので、そちらをご参照ください。

本大会では、皆様もご存知の通り、この春九州・沖縄支部長として再選された島谷浩先生 (熊本大学) を大会会長とし、田上優子先生 (福岡女子大学) に大会事務局長になっていただき、現在支部事務局長で支部選出理事でもある長加奈子先生 (北九州市立大学) より多大なご協力を得て、現在実行委員会を中心に大会の準備を進めています。また LET 名誉会長である木下正義先生には大会顧問として、大所高所からご指導をいただいています。

本年度の大会テーマを「グローバル人材育成に資するこれからの外国語教育のあり方」とし、このテーマに沿って、佐藤学先生 (学習院大学教授・財団法人ラボ国際交流センター理事) と漆原朗子先生 (北九州市立大学教授・副学長) に、それぞれ「言語リテラシー教育の再検討ー言葉としての英語の学びへ」、『『言語力』育成を通しての複眼的思考・批判的思考の涵養』と題する基調講演をお願いしています。どうかご期待ください。

また全体シンポジウムでは、同テーマのもと、パネリストである宮原哲先生 (西南学院大学教授・言語教育センター長・日米コミュニケーション学会会長) には「グローバル能力育成のためのコミュニケーション教育」というタイトルで、北浩一郎氏 (LbE Japan 代表取締役社長) には「21 世紀型教育に於ける英語教育」という

タイトルで、またコーディネータ兼パネリストである小野博先生 (福岡大学客員教授・グローバル人材育成教育学会会長) には「グローバル人材の育成と複合的な教育」というタイトルでそれぞれご発表をお願いしています。フロアとの間で活発なやり取りがなされるものと大いに期待しているところでございます。

公募シンポジウムにつきましては、残念ながら九州・沖縄支部からの応募はございませんでしたが、関東支部と関西支部からそれぞれ 2 件合計で 4 件が採択されています。以下、代表者名とタイトルのみお知らせします：

- ・青木信之先生 (広島市立大学) 「多様な大学環境における英語 e ラーニングー管理される学習から自律的な学習へー」
- ・石井雄隆先生 (早稲田大学) 「ライティング・プロダクトからライティング・プロセスへーWriting Maetrix Corpus Projectー」
- ・鈴木寿一先生 (京都外国語大学) 「『ラウンド制指導法』とその効果」
- ・三宅ひろ子先生 (東京経済大学) 「大学はグローバル人材をどう育てるかー国際コミュニケーションマネジメント (ICM) のすすめー」

研究発表・実践報告は、全支部より 55 件、IALLT より 1 件、合計で 56 件が採択されていますが、その内 9 件は九州・沖縄支部からの応募です。実行委員一同、大変うれしく思っております。たくさんの応募本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。また、ポスターセッションには他支部より 3 件の発表が予定されています。

それから、例年通り、大会初日の 8 月 4 日 (月) にはワークショップを開催いたします。現在のところ以下の 8 件のワークショップを計

画しております：

- ・印南洋先生（芝浦工業大学）「因子分析の基礎について」
- ・阪上辰也先生（広島大学）「R による外国語教育データの分析と可視化の基本」
- ・濱岡美郎先生（広島国際大学）「Moodle を使ってみようー概観と体験」
- ・田淵龍二先生（ミント音声教育研究所）「Seleaf という映画シーン検索サイトを使ったワークショップ」
- ・植田正暢先生（北九州市立大学）「学習者をつなぐ道具としての iPad（入門編）」
- ・山内真理先生（千葉商科大学）「BYOD による英語授業の実践」
- ・石橋俊先生（佐賀県立小城高等学校）「電子黒板を活用した 4 技能統合の授業展開 ～Communication English II～」
- ・Thomas Robb 先生（京都産業大学）「Implementing MReader for your students」

5 月中旬をめどに事前登録を開始する予定です。事前登録の締め切りは 7 月 15 日（火）ですが、定員になり次第締め切らせていただきます。受講料は 1 講座につき 1,000 円です。受講料は 7 月 17 日（木）までに振込みを完了していただく予定です。振込みが確認できた時点で登録完了とさせていただきます。支部員の皆様、どう

か奮ってご参加ください。

大会期間中は夏真っ盛りの時期ですが、実行委員一同ハワイから取り寄せたアロハシャツを着て、全ての会場での温度調整を怠らず、快適な環境の中で大会を楽しんでいただけるよう配慮したいと思います。また、会場の一角では冷たいドリンクのサービスも計画しておりますので、どうぞ自由にご利用ください。大会 2 日目の懇親会では、活きのよい玄海の海の幸と美味しいお酒と焼酎を取り揃え、皆さんのお出でをお待ちしております。どうかたくさんのご参加をよろしくお願い申し上げます。

それでは皆様、今年の夏はぜひ福岡でお会いしましょう！



新運営委員のごあいさつ

植田 正暢（北九州市立大学）

みなさん、はじめまして。今年度より運営委員を務めることになりました植田正暢です。これまでは気軽な気分で研究発表やワークショップに参加していましたが、今年度からは運営する側にまわり、気を引き締めていかなければと思っています。さて、全国大会ではiPadを利用したワークショップを企画しております。

普段からiPadに教材や参考書・辞書などを詰め込んで利用していますが、今回のワークショップではクラス活動を念頭に置いた利用方法について考えてみたいと思います。完成された内容ではなく、私自身もいろいろな方法を試している段階ですので、失敗談も含めて情報を共有できたらと思います。

* ~ * ~ * ~ 事務局からのお知らせ * ~ * ~ * ~

【新会員（支部の移動を含む）】

（五十音順）

<個人会員>

江口誠（佐賀大学）

Peter CARTER（九州産業大学）

武上富美（立命館慶祥中学校・高等学校）

田中弘恵（長崎県立大学シーボルト校）

Joseph TOMEI（熊本学園大学）

平野順也（熊本大学）

MIURA Kaori（九州産業大学）

<学生会員>

水田 文（梅光学院大学大学院）

山岡幸高（九州大学）

【2014年度支部総会およびワークショップ】

以下の日程で2014年度支部総会およびワークショップが開催されます。ワークショップに参加を希望される方は支部HPより、事前にお申し込みください。なお定員に達しましたら、お申し込みを締め切らせていただきます。

日時：2014年6月14日（土）

15:30 ~ 17:00

会場：[福岡大学](#)文系センター

A814CALL 教室

講師：植田 正暢 先生

（北九州市立大学）

タイトル：iPadの活用可能性について

概要：

iPadは、従来のコンピュータを利用した学習と比較すると、時と場所の制約が受けにくくなる上、個々の学習者にあった形で学習を進めることを容易にする可能性を秘めている。iPadを1人1台使うことができる環境にある場合、iPadの利点を最大限享受できる学習環境を構築することが可能であるが、現時点ではすべて教育機関においてそのような環境が準備されているわけではない。

今回のワークショップでは、限られたリソースを用いてどのように教室内活動に結びつけられるのかを3部構成で紹介していく予定である。第1部では教材提示装置としてどのよう

に iPad が利用できるのかを紹介する。第2部では学習者の立場から個人学習に iPad がどのように利用できるのかを見ていく。第3部では講師の実践例を紹介しながら、教室内活動としてどのように iPad が利用できるのかを参加者のみなさまにも体験していただく予定である。講師自身も iPad を教室で利用する方法について試行錯誤を重ねており、すでに iPad を活用されている方やこれから利用することを考えている方とアイデアを交換できる時間も設けたいと考えている。

参加費： 会員 無料，非会員 500 円

★ iPad を所有されている方は持ち込んでいただいても構いません。

★参加を希望される方は、支部 HP（以下の申し込みフォーム）よりお申し込みください。なお定員に達しましたら、締め切らせていただきます。

<懇親会>

ワークショップ終了後、講師の先生も交えて懇親会を予定しております。

こちらにも是非ご参加ください。

日時： 2014 年 6 月 14 日（土）

18:30 ～ 20:00

会場： 麦（BAKU）

福岡市中央区今泉 1-22-21

ジョリスビル 6F

参加費： 3,500 円

参加申し込み締め切り： 6 月 10 日（火）

申し込み方法： 支部 HP（以下の申し込みフォーム）より申し込み

http://www.j-let-ko.org/htdocs/?page_id=18

【第 54 回全国研究大会の事前登録のお願い】

第 54 回全国大会は、以下の日程で開催されます。

日時： 2014 年 8 月 4 日から 6 日

会場： 福岡大学（福岡県福岡市）

ワークショップ、発表要項集、懇親会の事前申込みを以下の大会 HP より受け付けております。ワークショップ、懇親会は定員に達し次第、締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

大会 HP： <http://www2.j-let-ko.org/htdocs/>

【会費納入のお願い】

2014 年度の会費振り込みのお願いが、登録住所宛に送付されていると思います。まだお振り込みいただいていない会員の方は、お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします（個人会員・団体会員は 6000 円、学生会員は 3000 円）。未納の状態が続く場合には支部からの発送物を停止させていただく場合がございます。支部の円滑な運営の為にもご協力をお願いいたします。なお住所・所属等に変更が生じた場合には、学会本部の HP より変更していただきますようお願い申し上げます。

【LET ホームページ】

<LET 本部>

<http://www.j-let.org>

<LET 九州・沖縄支部>

<http://www.j-let-ko.org/>

【LET 九州・沖縄支部事務局】

〒808-0135 北九州市若松区

ひびきの 1-1

北九州市立大学

長 加奈子研究室内